

第 20 回蒲生干潟自然再生協議会資料 2025/6/7

2024/2025 冬期 コクガン越冬状況

蒲生を守る会

1. 保護対策

2024/11/24 七北田川河口左岸に看板・ロープ柵設置 [図 1]

位置図、構造図は昨年と同様、河川課「許可済標識」設置

2025/3/31 看板・ロープ柵撤去

[図 1]



[図 2] 左岸で休息するコクガン 34 羽 (2024/11/29 撮影:佐場野 裕)



〔図3〕 左岸で休息するコクガン9羽とロープ柵 （2025/2/25 撮影：佐場野 裕）

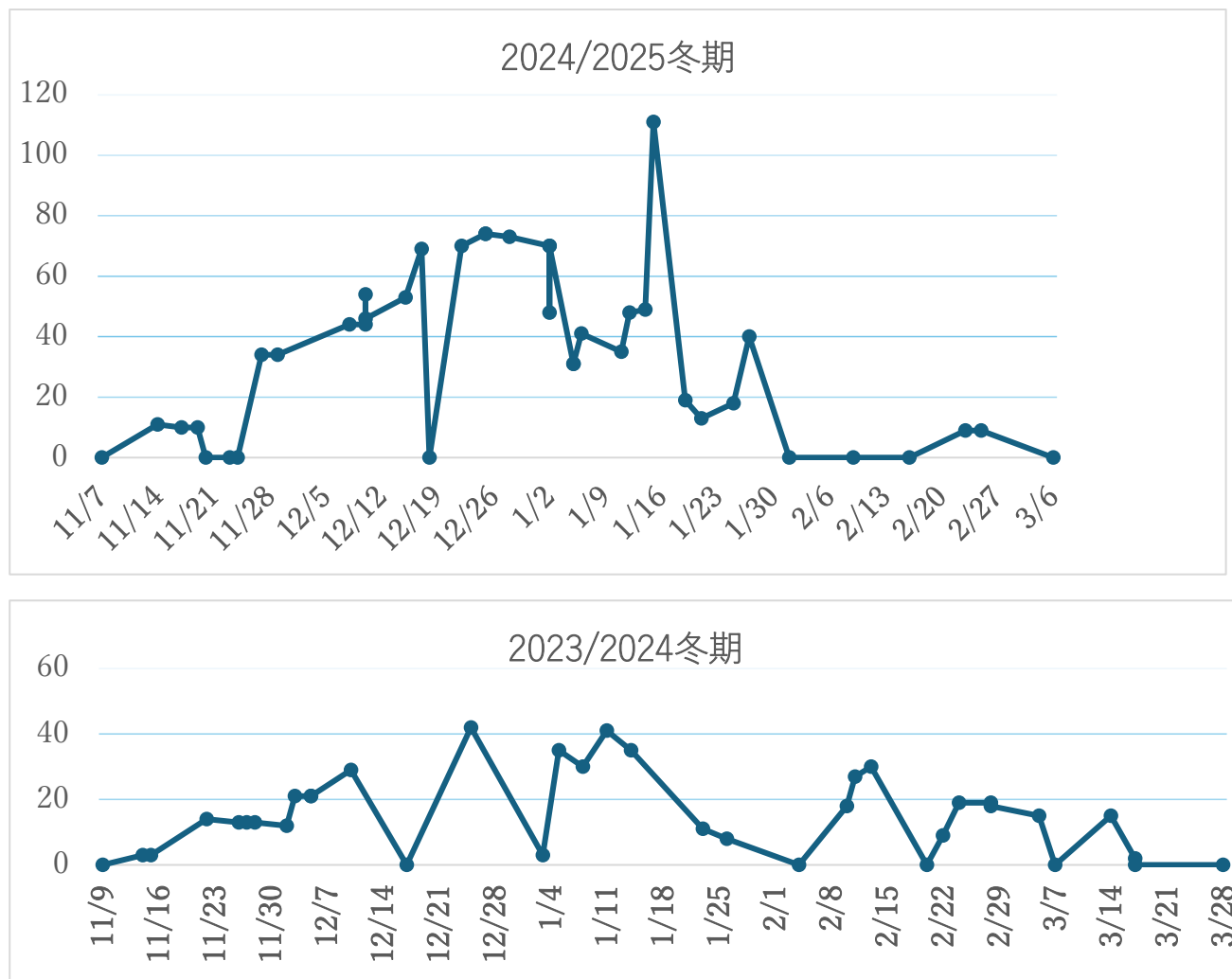


〔図4〕 左岸で休息するコクガン9羽の部分 （2025/2/25 撮影：佐場野 裕）



2. 飛来状況

[図5] 2024/2025、及び 2023/2024 冬期での個体数推移



* 2024/2025 冬期の個体数は前年より大きく増加。

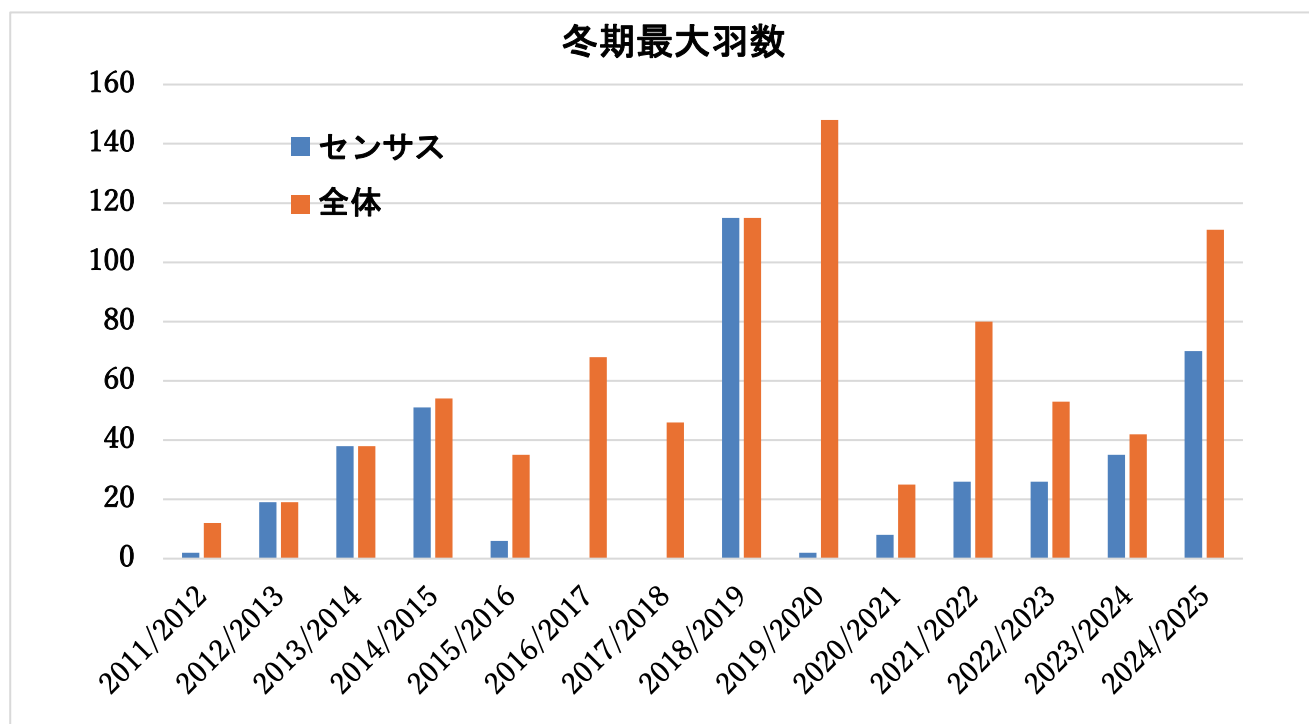
最高羽数が 100 羽を超えたのは 5 年ぶり。(2025/1/15, 111 羽)

12 月中旬から 1 月中旬、ほぼ連続して 65 羽を超える個体数を観察。

(ラムサール条約選定基準：亜種コクガン *nigricans* 東アジア越冬個体群 1%・65 羽)

* シーズン後半 (2 月以降) に個体数が減少。 終認：2/25。

[図 6] 最大羽数の経年変化



＊ 2021/2022 冬期以降、看板設置

2023/2024 冬期以降、ロープ柵・看板設置

センサスでの観察個体数が増加：利用時間の拡大

＊ 利用場所：河口左岸が最大 52%だが、海上が増加 30%。

干潟の利用は昨年より減少 11%（昨年 34%）

[図 7] 干潟で休息するコクガンの群れ 69 羽（部分）（2024/12/17：撮影佐場野 裕）

